



【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>①自転車 レースイ ベントの開催</p>	<p>①-1 国際的サイクルレースの開催</p> <p>《事業概要》 スポーツの振興及びスポーツを活用し、地域の経済の活性化などを図ることを目的に、「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」を開催します。</p> <p>《活動指標》 年1回の継続開催 《成果指標》 来場者数10万人以上 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【スポーツイベント課】 J:COM presents 2017ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成29年11月4日（土） 来場者数：約10.6万人（11/3 約3千人、11/4 約10.3万人） 開催内容 11/3 ・海外招聘選手との交流イベント 11/4 ・コース一般体験走行 ・タイムトライアルレース ・スプリントレース ・クリテリウムメインレース 	<p>【スポーツイベント課】 2018ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催に向け取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年11月4日（日） 会場：さいたま新都心駅周辺 <p>《課題・留意点》 本市の負担軽減を図りながら継続的に大会を開催していくため、平成31年度以降、大会の実施主体を民間団体等へ移行するための準備を進めている。</p>
	<p>①-2 市民サイクルイベントの開催・支援</p> <p>《事業概要》 「自転車によるまちづくり」を市民に身近に感じてもらうことを目的に、市民参加型のサイクルイベントを開催・支援します。</p> <p>《活動指標》 イベント開催・支援数5回/年以上 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【スポーツ振興課】 ・イベント名義後援 ・秋ヶ瀬の森バイクロア7</p> <p>【自転車まちづくり推進課】 ・2017サイクルフェスタの開催 開催日：11月3日（金）、4日（土） 開催場所：さいたま新都心 交通広場予定地 来場者数：20,000人 開催内容：参考資料のとおり</p> <p>【西区コミュニティ課】 ・第5回西来るフェスタの開催 開催日：平成30年3月17日（土） 開催場所：大宮けんぼグラウンド 21区画 開催内容：参考資料のとおり</p>	<p>【スポーツ振興課】 ・引き続き、イベントの誘致と開催支援を行っていく。</p> <p>【自転車まちづくり推進課】 ・2018サイクルフェスタの開催に向け取り組んでいく。</p> <p>《課題・留意点》 ・今回は会場が現会場の西側となる見通し。土地形状などの条件が変わるため、それに合わせて企画を考える必要がある。 ・平成31年度以降はさいたまクリテリウムの民間移行に伴い、ほぼゼロベースでサイクルフェスタの在り方について検討していく必要がある。</p> <p>【西区コミュニティ課】 ・平成29年度は参加型プログラムを中心にイベント内容の見直しを行い、ある程度の悪天候でも開催できる形態を目指したが、参加者数が伸び悩んだ。平成30年度はターゲット層のニーズ把握に一層力を入れ、参加者がより楽しめるイベントにしたい。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>②サイクリングコースの環境整備</p>	<p>②-1 レクリエーションルートの整備</p> <p>《事業概要》 市内の豊かな自然や地域資源を活かして、サイクリングが楽しめるレクリエーションルートの設定を検討し、余暇のサイクリング環境の創出を図ります。</p> <p>《活動指標》平成32年度までに整備 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川自転車道（広域型レクリエーションルート）に距離表示サイン及びサイクルサポート施設への案内サインを設置した。 ・市内回遊型レクリエーションルート素案を設定したほか、市民アンケート等より、ルート周辺のおすすめスポットを抽出した。（参考資料あり） 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のヘルシーロード（広域型レクリエーションルート）について、案内サインの設置場所や内容に関する検討を行う。 <p>《課題・留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川の築堤工事が平成31年度に完了する予定であるため、堤防天端上に再設する新たな自転車道について、国交省をはじめ関係各課との協議を行っていく。 ・市内回遊型レクリエーションルートにおける案内サインについて、警察及び道路管理者と設置に向けた協議を行う必要がある。
	<p>②-2 サイクリングマップの作成</p> <p>《事業概要》 サイクリングコースやサイクルサポート施設、観光施設の関連情報をまとめた、使いやすいマップの作成・配布を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度までにマップを作成 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <p>市内回遊型レクリエーションルート素案を設定したほか、市民や区役所へのアンケートにより、ルート周辺のおすすめスポットを抽出した。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度までに設定したルートを基に、マップの作成を行う。 ・マップに掲載するおすすめスポットやサイクルサポート施設については、取材等を行い記事の作成を行う。 ・作成したマップは各区役所情報公開コーナーやサイクルサポート施設の店頭で配布する。

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>たのしむ</p> <p>③自転車の まちの魅力 向上</p>	<p>③-1 自転車のまちの情報発信、官民連携による企画検討</p> <p>《事業概要》 ホームページやSNS等を活用して、市の自転車関連情報や市内自転車関連団体の活動等、“自転車のまち さいたま”の情報発信を行います。</p> <p>《活動指標》平成29年度までに情報発信サイトを開設 《成果指標》情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 さいたまはーとFacebookページを開設し、自転車施策等の情報発信を開始した。</p> <p>発信内容 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロードの紹介 ・サイクルフェスタの開催案内 ・自転車レーンの紹介 等 (参考資料あり) 118いいね！ 127フォロワー数(3月末現在)</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 引き続きSNSによる情報発信を行う。</p> <p>《課題・留意点》 <ul style="list-style-type: none"> ・いいねやフォロワー数がまだまだ少ないので、これを増やす仕組みを検討する必要がある。 ・FacebookのみならずTwitterやInstagramなど、その他のSNSを活用し、より広域に広報活動を行う必要がある。 ・民間企業のSNSアカウントと相互連携するなど、官民連携による企画を検討する必要がある。 </p>
	<p>③-2 サイクルパークの設置</p> <p>《事業概要》 自転車の楽しさを日常的に体験できる場として、サイクルパークの設置や、既存施設を活用した自転車に親しめる環境創出を検討します。</p> <p>《活動指標》平成31年度までに基本計画を策定 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>ルール遵守・マナー向上 <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>・サイクルパークの整備可能箇所など、実現可能性について検討した。 【自転車まちづくり推進課・都市公園課】</p>  	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・「サイクルパーク設置構想検討業務」として、サイクルパークの設置理念にかなう施設形態、設置できる可能性のある場所、需要と想定来場者、設置費用等について調査検討を行う。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p style="text-align: center;">たのしむ</p> <p>④コミュニティサイクル事業の推進</p>	<p>④-1 コミュニティサイクルの利用促進・エリア拡大</p> <p>《事業概要》 大宮駅周辺エリア約3km圏で実施しているコミュニティサイクルについて、自転車利用の多い鉄道駅周辺に、ポートを増設し、移動円滑化、周遊を促します。また貸出しの需要に対応するよう、運営の活性化を図ります。</p> <p>《活動指標》平成29年度までにエリア拡大を実施 《成果指標》利用回数 30万回/年以上 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> さいたま市コミュニティサイクル <p>事業区域 : 大宮駅周辺エリア約3km圏内 ポート数 : 24箇所 自転車台数 : 400台 年間利用回数 : 157,865回</p> <p>【環境未来都市推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> エコモビ <p>事業区域 : 美園地区 実施主体 : (一社)美園タウンマネジメント ポート数 : 2箇所 自転車台数 : 16台(電動アシスト)</p> <p>・平成29年11月より、民間企業が同じシステムを使用したシェアサイクル事業を開始しており、現在さいたま市内の貸出・返却ステーション数は100箇所以上。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・環境未来都市推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> さいたま市コミュニティサイクルについては、前年同様に事業を実施し、年間利用回数13万回を目標とする。 エコモビについては、利用者の利便性及び事業の収益性を向上させるため、ポートの拡大及び周知活動を実施していく予定。特に、新規利用者数及び利用回数の増加に向けて、周知活動に重点を置く。 <p>《課題・留意点》 昨夏から台頭著しい民間シェアサイクル事業との連携のありかた（公有地の貸出スキーム等）について検討する必要がある。</p>
	<p>④-2 コミュニティサイクルの車両多様化</p> <p>《事業概要》 現在のコミュニティサイクルについては、多くの方に利用してもらえよう、小径（20インチ）の自転車を採用していますが、幅広い用途の要望もあることから、車両の多様化を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度までに車両多様化の導入 《成果指標》自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> さいたま市コミュニティサイクルにおいては、大宮駅西口ポートにて電動アシスト自転車（チャイルドシート無し）及びクロスバイクをレンタサイクルとして貸出ししている。 事業本体については、採算性に懸念があることから現在のところ多様化の予定はない。 <p>【環境未来都市推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の副都心の一つである美園地区において開始したシェアリング事業では、電動アシスト自転車16台を導入。 そのうち3台には、チャイルドシートを設置し、子供と一緒に乗れる自転車を用意。 	<p>【環境未来都市推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、車両の種類を増やす検討を進めていく予定。

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>まもる</p> <p>①交通安全教育の推進</p>	<p>①-1 幅広い世代への交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図ることを目的として、事故率が高い学生や、死傷率が高い高齢者を中心に、交通安全教室を実施します。</p> <p>《活動指標》250回/年、2万人/年以上に実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【市民生活安全課】 以下のとおり交通安全教室を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向け 155回（予定どおり） 21,328人参加 ・高齢者向け 38回 1,289人参加 ・その他（保護者向けなど） 36回 1,425人参加 <p>合計 229回 24,042人</p> <p>（高齢者+その他の当初予定回数は95回）</p>	<p>【市民生活安全課】 公民館等と連携し、高齢者向けの交通安全教室開催数を拡大させていく。</p> <p>＜実施予定回数＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向け ……155回 ・その他 ……105回
	<p>①-2 スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施</p> <p>《事業概要》 市内の中学生、高校生を対象に、スタントマンによる模擬の交通事故を見学し、「恐れ」を体感することで、交通安全意識の向上を図る、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教育を実施します。</p> <p>《活動指標》3年間で全ての市立中・高等学校に実施 《成果指標》自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>ルール・マナー <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【健康教育課】 ・当初予定の通り、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を市立中・高等学校22校で実施した。</p>	<p>【健康教育課】 ・スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を市立中・高等学校21校で実施する。</p> <p>・平成29年度 22校、平成30年度 21校、平成31年度 18校と、3年間をかけて、全ての市立中・高等学校で実施する予定。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p>①交通安全教育の推進</p>	<p>①-3 子ども自転車運転免許制度</p> <p>《事業概要》 自転車を利用する小学生に対して、早い時期から自転車の安全な乗り方を身に付けさせ、交通安全に対する意識を高め、児童の将来にわたる長期的な交通事故防止に資することを目的とし、安全講習を開催し、子ども自転車運転免許を交付します。</p> <p>《活動指標》 全ての市立小学校で、講習の開催 《成果指標》 自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【健康教育課】 ・当初予定の通り、全ての市立小学校（103校）を対象（原則として小学4年生）に、安全講習を開催し、免許証を交付した。 ・自転車通学者の在籍する中学校19校で、安全講習を開催し、免許証を交付した。</p> 	<p>【健康教育課】 ・全ての市立小学校を対象（原則として小学4年生）に、安全講習の開催、免許証の交付の取組を継続する。 ・新たな取組みとして、全ての市立中学校・高等学校の1年生を対象に、安全講習の開催、免許証（講習修了証）の交付を実施する。</p>
<p style="text-align: center;">まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-1ルール・マナーの意識啓発のためのサイン設置</p> <p>《事業概要》 「自転車＝車両」という意識が低いことから、意識改善・啓発のために、自転車通行環境などの整備と併せ、ルール・マナー啓発に資するサインを設置します。</p> <p>《活動指標》 自転車通行環境帯の整備と併せたサイン設置 《成果指標》 ルール・マナーの改善、歩道走行台数3割減 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課・各区くらし応援室】</p> <p>自転車安全利用の啓発に関する電柱巻看板を作成。道路管理者及び交通管理者との協議が整い次第市内16箇所に設置予定。</p> <p style="text-align: center;">看板イメージ</p> 	<p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課・各区くらし応援室】</p> <p>自転車安全利用の啓発に関する電柱巻看板を市内30箇所に設置する。</p> <p>《課題・留意点》 初回事例をパイロットケースとして市内全域に設置を拡大していきたいが、交通管理者との調整に時間を要している。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-2自転車保険加入、ヘルメット着用、自転車整備方法の周知・普及促進</p> <p>《事業概要》 自転車保険の必要性、加入方法等の情報提供により、周知・普及を図るほか、児童へのヘルメット着用徹底や、高齢者への着用促進を図ります。また、普段からの自転車点検、整備方法に関する情報提供を行います。</p> <p>《活動指標》 交通安全教室等での周知 2万人/年以上 《成果指標》 自転車事故減少に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人乗り電動アシスト自転車レンタル事業における自転車安全講習会等で、ヘルメットや保険について周知を行った。 ・市職員向け自転車安全講習会において、保険加入義務化について周知した。 ・市営駐輪場に保険加入義務化に関するチラシ・ポスターを設置した。 <p>【市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室や街頭啓発活動等において、正しい自転車利用の啓発を実施した。 ・県条例改正による自転車保険加入義務化について、チラシ・ポスターの配布や市報、ホームページへの掲載以外に、ラジオ番組やSNSを活用して幅広く周知した。 	<p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年同様、様々な機会での周知啓発を行っていく。
	<p>②-3 自転車安全利用の人材育成</p> <p>《事業概要》 自転車の安全利用を推進・啓発するため、自転車安全利用の人材育成に取組み、利用者のルール遵守、マナーの向上を目指します。</p> <p>《活動指標》 自転車利用模範推進員の任命200人/年以上 《成果指標》 自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人乗り電動アシスト自転車レンタル事業において、レンタル前に自転車安全講習会を実施し、受講者（200名）を自転車利用模範推進員に任命。レンタル期間中、正しく安全な自転車の利用と周囲に対する安全啓発に努めていただいた。 ・正しく安全な自転車の利用や自転車保険加入義務化について周知するため、市職員向け自転車安全講習会を実施した。 実施日：平成30年3月22日 参加人数：163人 講習内容：自転車安全講習会 (ファインモータースクール講師による) 自転車保険加入義務化について さいたまはーとについて 	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き3人乗り電動アシスト自転車レンタル事業において、自転車安全講習会を実施し、受講者を自転車利用模範推進員に任命するほか、市職員向け自転車安全講習会を年複数回実施していく。 <p>※自転車通勤の市職員は約2,000名</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>まもる</p> <p>②正しい自転車利用の啓発</p>	<p>②-4 自転車安全利用に関する広報・啓発</p> <p>《事業概要》 自転車利用者の交通マナーの向上と自転車に関する交通事故防止を図るために、「街頭啓発活動」を関係機関と連携し実施します。「広告媒体によるルール周知・啓発」を行うほか、「ドライバーへの安全啓発」を検討します。</p> <p>《活動指標》 啓発活動の実施、1万3千人/年以上 《成果指標》 自転車事故減少、ルール・マナー向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 事故減少 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課・各区くらし応援室】 交通安全教室や街頭啓発活動等において、自転車安全利用に関する広報・啓発を実施した。</p> <p>【自転車まちづくり推進課】 自転車安全利用コミュニケーションワード「Beautiful Ride」を考案し、ロゴをデザイン。2017サイクルフェスタのキーワードとしたほか、チラシ、サコッシュ、コインケース、ステッカーを作成。スタンプラリー等趣旨を理解していただく仕組みを設け、周知啓発を行った。</p> 	<p>【自転車まちづくり推進課・市民生活安全課・各区くらし応援室】 交通安全教室や街頭啓発活動等において、自転車安全利用に関する広報・啓発を実施する。</p> <p>【自転車まちづくり推進課】 自転車安全利用コミュニケーションワード「Beautiful Ride」を活用した自転車安全利用の周知啓発について検討、実施していく。</p>
			

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>①自転車通行環境の整備</p>	<p>①-1 自転車ネットワーク整備路線の整備</p> <p>《事業概要》 平成26年4月に策定した、さいたま市自転車ネットワーク整備計画に基づき、自転車交通量の多い路線や、自転車関連事故の多い路線などで、安全で安心な自転車通行環境の整備を実施します。</p> <p>《活動指標》平成35年度までに、約200kmを整備 《成果指標》自転車通行環境改善、歩道走行台数3割減 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車ネットワーク路線の整備 平成29年度整備実績 約24km (H26~H29累計 約82km) <p>【自転車まちづくり推進課・道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車ネットワーク整備計画の効果検証業務 <p>現在までの事業効果の検証及び今後の整備における課題を整理するとともに、平成28年7月に発出した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の内容を鑑み、整備計画の見直しについて、検討を実施した。</p>	<p>【道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車ネットワーク路線の整備 自転車利用者の多い駅周辺の路線や各駅を結ぶ路線の整備を実施し、広域的な自転車ネットワークの構築を推進する。 <p>【自転車まちづくり推進課・道路環境課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「さいたま市自転車ネットワーク整備計画」の中間見直し 現行の自転車ネットワークの中間見直しを行い、整備計画を改定する。
	<p>①-2 交差点等危険箇所の重点的な改善</p> <p>《事業概要》 交差点などのクルマとの交錯危険性が高い箇所、歩行者との事故が多い箇所、幅員が狭く交通量が多い区間など、危険箇所の点検・改善を実施します。</p> <p>《活動指標》交差点等危険箇所の対策メニューの作成 《成果指標》自転車事故減少に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>事故減少 <input type="checkbox"/>安全性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <p>埼玉県警から情報提供を受けて市内の事故多発地点の抽出を行い、自転車ネットワーク整備計画の改定素案の策定にあたって参考とした。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <p>自転車ネットワーク整備計画の改定素案をもとに警察との協議を行い、自転車ネットワークの整備を通して危険箇所の改善に努めていく。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>②公共交通機関との連携</p>	<p>②-1 公共交通結節点の環境整備</p> <p>《事業概要》 サイクル&バスライドの検討や、バス事業者やコミュニティバスと連携し、駐輪場やコミュニティサイクルの利用促進策を検討します。他、輸送時の自転車分解・組立スペース等、公共交通との連携可能性の検討を進めます。</p> <p>《活動指標》 平成31年度から交通事業者との連携を実施 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・交通政策課】ソフト施策として以下を実施した。 ・さいたま市バス路線マップへサイクリングロードを掲載。 ・北区コミュニティバスルートガイドへコミュニティサイクルポートを掲載。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・交通政策課】ソフト施策としては、前年事業を継続して実施していく。</p> <p>《課題・留意点》 ・自転車利用とバス利用の関連性については、ニーズを把握した上で、効果的な施策の検証が必要である。</p>
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-1 サイクルサポート施設の認定・設置</p> <p>《事業概要》 自転車ネットワーク路線やレクリエーションルート沿道中心に、トイレや休憩所などの「サイクルサポート施設」の設置を検討します。</p> <p>《活動指標》 平成29年度までに、市内全域のサポート施設の開設 《成果指標》 市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・サイクルサポート施設を「さいクルステーション」と命名し、施設の募集を開始した。 ・民間施設5施設、公共施設2施設の計7施設を認定した。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・引続き施設の募集及び認定を継続し、民間店舗等に登録を働きかける。また、認定した施設については、サイクリングマップへ掲載する。 (目標：年間5施設(民間)の認定)</p> <p>《課題・留意点》 認定した施設が形骸化しないような取り組みや、サイクリストに対するおもてなしの意識を維持してもらうための取り組みを検討する必要がある。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-2</p> <p>電動アシスト付き自転車等の利用啓発</p> <p>《事業概要》 近距離での移動を車に頼りがちになってしまいう世代に対し、電動アシスト付自転車等の高機能な自転車の利用啓発を推進し、自転車利用の促進を行います。</p> <p>《活動指標》 電動アシスト自転車貸出し（200台/年）の実施 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・子育て支援政策課】</p> <p>・3人乗り自転車安全利用推進事業 市内在住で、1歳以上6歳未満の子どもを2人以上養育するものに対し、自転車安全講習会の受講等を条件に3人乗り電動アシスト自転車を1,000円/月で貸出し 現在、200台の自転車をすべて貸出し中であり、年齢到達などで返却された自転車の再貸出しを隔月で行っている。 平成29年度は108名に自転車安全講習会を受講していただき、その後自転車を貸し出した。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課・子育て支援政策課】</p> <p>・3人乗り自転車安全利用推進事業について、平成31年度までは現事業を継続することが決定しており、平成30年度はこれまでと同様に事業を実施していく。</p> <p>《課題・留意点》 平成32年度以降に向け、購入補助形式などより多くの市民に効果を広げられる新たな制度を検討する必要がある。</p>
	<p>③-3</p> <p>自転車利用促進事業者認定制度の導入</p> <p>《事業概要》 環境問題や、健康増進の面から、自転車利用を推進している事業者に対し、事業者単位での取組が推進されるよう、認定制度の導入を検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、平成32年度までに導入 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p>はしる</p> <p>③自転車利用の促進</p>	<p>③-4 自転車利用優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 健康増進や環境負荷軽減として、市民の自転車利用促進・啓発のために、自転車をより多く利用した方を優遇する制度の導入や、健康マイレージ制度との連携などを検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、平成32年度までに導入 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 情報提供</p>	<p>【環境未来都市推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無理のない運動習慣づくりを促すプログラムとして、歩行+自転車の総活動量に応じてポイントを付与する「美園サイクリング&ウォーキング」を昨年度に引き続き、実施。 特徴は、世帯での自転車保有率が非常に高いという本市の特性を活かし、歩行時の活動量だけでなく、「自転車」での活動量もポイント換算できる活動量計を（株）タニタに新たに開発していただき、これを活用した事業であること。 昨年度配布したものを含めると約1,000個以上を美園地区住民（在勤者を含む）に配布し、事業に参加いただいたところ。 	<p>【環境未来都市推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度も今年度に引き続き実施予定。 <p>（主な変更点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な事業とするため、新たに参加料を徴収予定。 活動量計だけでなく、新たに（株）タニタが開発した「アプリ」（自転車の活動量も計測可能、ダウンロード無料）も併用して事業を実施予定。
	<p>③-5 新たな自転車車両の普及・研究</p> <p>《事業概要》 タンDEM自転車の公道での走行の検討や、環境負荷軽減に資する低炭素型パーソナルモビリティ「電動二輪モビリティ」などに関する研究開発を行います。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、平成32年度から活用を実施 《成果指標》 自転車利用者増加に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【産業展開推進課】</p> <p><自転車の転倒防止システムの研究開発及び実証実験></p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎国際環境技術展2018で研究開発の取組を展示（平成30年2月1日～2日、とどろきアリーナ） 初めての実証実験実施（平成30年3月1日） <p><2輪ワイヤレス給電（非接触型給電）システムの普及></p> <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレス給電システムを組み込んだ電動アシスト自転車を活用したシェアサイクル事業を市内事業者が本格実施。浦和美園、武蔵浦和等に設置済み。 	<p>【産業展開推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車の転倒防止システムの研究開発について、引き続き支援していく。 ワイヤレス給電システムを組み込んだシェアサイクル事業について、導入拡大支援を実施する。

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-1 駐輪場の適正配置の推進</p> <p>《事業概要》 鉄道駅への自転車通勤・通学者の利便向上のために、駐輪場の適正配置を推進します。主要駅周辺の駅へ向かう動線上への配置など、利用しやすい駐輪場の配置を検討します。</p> <p>《活動指標》平成30年度から適正配置計画の推進 《成果指標》放置自転車数 1割/年削減 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性 <input type="checkbox"/>市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 平成28年度に実施した調査検討結果に基づき、さいたま市自転車等駐車場補助金制度について、以下の措置を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに制度の概要や目的、市が整備を推進する駐輪場等についての案内用HPを開設。民間駐輪場の整備を誘導するため、「特に整備を誘導している駐輪場」として、さいたま新都心駅など特定の駅を挙げている。 さいたま市自転車等駐車場補助金交付要綱について、小規模な駐輪場でも補助金を活用できるように、収容台数の制限緩和ほか所要の改正を実施（平成30年4月1日施行予定） 	<p>【自転車まちづくり推進課】 引き続き、調査検討結果に基づき民間駐輪場の整備を誘導していく。</p>
	<p>①-2 民間事業者による駐輪場整備の支援</p> <p>《事業概要》 一定要件を満たす民間駐輪場の新設・増設について、その設置者に対して整備費用の一部を補助するなど、民間事業者への支援を行います。</p> <p>《活動指標》民間駐輪場の新設2箇所、300台/年以上 《成果指標》快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》</p> <p><input type="checkbox"/>自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/>快適性</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 補助金交付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月23日開設 サイクルスペース東大宮駅前 24時間駐輪場 3,040千円交付 152台収容 	<p>【自転車まちづくり推進課】 引き続き、補助金制度による民間駐輪場の整備の誘導・支援を行っていく。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-3 駐輪需要を生じさせる施設等の整備に併せた、駐輪場の整備促進</p> <p>《事業概要》 「さいたま市自転車等駐車場の附置に関する条例」に基づき、駐輪需要を生じさせる集客施設や商業施設への駐輪場の附置を推進します。</p> <p>《活動指標》 附置義務条例等に応じた駐輪場の確保 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 □自転車利用者の増加 □快適性</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 条例及び基準に基づく指導を行った。</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 ・引続き、条例及び基準に基づく指導の推進を行う。</p> <p>《課題・留意点》 懸案事項に対する庁内の協議体制を確立する必要がある。</p>
	<p>①-4 駐輪優遇制度の導入</p> <p>《事業概要》 駐輪場利用者への店舗での割引特典の付与等、買い物客などの積極的な駐輪場利用につながる優遇制度の導入を検討します。</p> <p>《活動指標》 検討結果を踏まえ、平成32年度までに導入 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 □自転車利用者の増加 □快適性</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 調査・検討中</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>①駐輪場の 利便性向上 (利用しやすさ)</p>	<p>①-5 駐輪場の情報発信の充実</p> <p>《事業概要》 市内各駅の駐輪場の情報を様々な媒体により提供し、利用案内の充実を推進します。また、近隣の商業施設等と連携した、周辺施設案内へのリンク等の付加情報の提供など、更なる情報発信の充実を推進します。</p> <p>《活動指標》 案内システムのアクセス 1万4千件/月以上 《成果指標》 情報提供に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> 快適性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 駐輪場案内システムが2月末で終了したことに伴い、市ホームページで駐輪場案内を開設。</p> <p>(駐輪場案内システムアクセス数) 4月～2月アクセス数総計 255,839 月平均アクセス数 23,258</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 事業者と連携し、駐輪場の料金等に変更があれば速やかにホームページの変更を行うことで正しい情報を発信し、自転車利用者の快適性向上に貢献する。</p>
	<p>①-6 利用者サービスの充実</p> <p>《事業概要》 スポーツバイク等、多様な車両への駐輪への対応を、施設特性に応じて市営施設の改修等により実施します。</p> <p>《活動指標》 全市営駐輪場での付加サービス機能の向上 《成果指標》 快適性に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 <input type="checkbox"/> 自転車利用者の増加 <input type="checkbox"/> ルール・マナー <input type="checkbox"/> 市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営宮原駅東口自転車駐輪場に垂直式2段ラックを導入。 市営さいたま新都心駅東口自転車等駐輪場にスポーツバイク専用駐輪スペースを新設した。 指定管理者独自のサービスとして、電動空気入れの設置、雨天時のタオル貸出、自転車故障時の代車貸出、係員による2段ラック入庫・出庫時におけるアシスト等を行っている。 	<p>【自転車まちづくり推進課】 市営自転車駐輪場において利便性向上に寄与する防犯管理システム修繕、サイクルラック修繕、オートスロープ修繕等を積極的に実施予定。また、現指定管理者における独自サービスを推進していく。</p> <p>《課題・留意点》 指定管理者独自のサービスは今後も継続するが、ニーズに応じた有料サービスについては、平成31年度以降の導入に向け調整を行う。</p>

【資料1-2】さいたまはーと進捗管理シート

事業	方策及び指標	平成29年度 取組結果	平成30年度 取組予定
<p style="text-align: center;">とめる</p> <p>②放置自転車の解消</p>	<p>②-1 放置自転車対策（指導・撤去・啓発）の強化</p> <p>《事業概要》 公共の場所における放置自転車等の対策として、放置自転車等監視・撤去業務を実施します。</p> <p>《活動指標》 放置自転車台数調査毎年実施 《成果指標》 放置自転車撤去数1割減/年 《貢献目標》 □快適性 □ルール・マナー □市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 （放置自転車監視）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内各駅周辺の自転車等放置禁止区域に原則、平日の午前8時から午後2時まで、監視員を配置。 注意喚起、駐輪場への案内・誘導 放置自転車への撤去の警告札の取付け等（放置自転車撤去） 午前9時以降、駅周辺を巡回し、車載放送で撤去の案内を広報 順次、警告札が付いた自転車を撤去し、保管所へ移送 	<p>【自転車まちづくり推進課】 引き続き、放置自転車対策を実施していく。</p> <p>《課題・留意点》 放置自転車台数は長年の取組みにより漸減傾向が続いており、現在は業務の効率化やコスト削減が事業のテーマになりつつある。 撤去自転車を返還するときに徴収する手数料について、現在は1,000円だが、他の自治体では5,000円以上のところもあり、金額の妥当性と手数料の改定について、今後検討する必要がある。</p>
	<p>②-2 放置自転車の活用</p> <p>《事業概要》 放置自転車として撤去された、引き取り手のない自転車について、リサイクル整備による市民向けの販売や、開発途上国へ譲与する、国際貢献事業を実施します。</p> <p>《活動指標》 開発途上国への120台/年の譲与 《成果指標》 市の取組に関する満足度向上に寄与 《貢献目標》 □市の取組</p>	<p>【自転車まちづくり推進課】 引き取り手のない撤去自転車の有効利用策として、再生自転車を開発途上国の母子保健活動の交通手段に活用してもらうため、「再生自転車海外譲与自治体連絡会（通称ムコーバ）」を通じて海外譲与を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度譲与実績 120台 	<p>【自転車まちづくり推進課】 撤去自転車の有効活用として、継続した譲与を予定。</p>